

2025年8月の振り返り&今後のポイント

YMfg | ワイエムアセットマネジメント

商号等 ワイエムアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第44号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

- 本資料は、情報提供を目的としてワイエムアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を推奨・勧誘するものではありません。
- 本資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 本資料に掲載されている当社の意見ならびに予測は資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。また、本資料は当社が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当社が保証するものではありません。本資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 本資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。

2025年8月の振り返り

米国雇用リスクの高まりでFRBの利下げ期待台頭

市場	変動要因 等
債券（金利）	<p><u>米国債券は上昇（金利は低下）</u> 米雇用統計で雇用者数の伸びが大幅に鈍化したことに加え、ジャクソンホール会合のFRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言を受けて9月FOMC（米連邦公開市場委員会）での利下げの可能性が高まったため、金利は低下しました。</p> <p><u>国内債券は下落（金利は上昇）</u> 政権交代による財政拡張懸念の高まりや日米関税交渉の進展による不確実性の後退を背景に、日銀の利上げ観測が強まり、金利は上昇しました。</p>
株式	<p><u>米国株式市場は上昇</u> 米雇用者数の伸び鈍化やFRBの利下げ観測の高まりに加え、米中関税交渉の進展期待が支えとなり、株式相場は上昇しました。</p> <p><u>国内株式市場は上昇</u> 日米関税交渉の進展や政権交代による財政拡張期待を背景に、株式相場は上昇しました。</p>
リート	<p><u>海外リートは上昇</u> 海外の長期金利が低下したことから上昇しました。</p> <p><u>国内リートは上昇</u> 他の資産と比べて分配金利回りの高さや割安感が評価され、投資資金が流入し上昇しました。</p>
為替	<p><u>為替相場は円高米ドル安</u> 日米金利差が縮小したことにより、円高ドル安方向に推移しました。</p>

今後のポイント

◎FRBの利下げスタンスは市場が期待どおりハト派となるか

- 市場は9月の利下げをほぼ織り込み、年内に2回、来年に4回の利下げを想定しています。
- 今回の利下げは、雇用・景気の下振れリスクに先んじて対応する「予防的利下げ」と位置付けられますが、継続的な利下げにはインフレ抑制が大前提となります。
- FOMC前に発表される物価指標が大幅に上昇すれば利下げペースは慎重となる一方、インフレ率の上昇が限定的であれば、リスク選好の相場展開が期待されます。

◎日銀の追加利上げは当面見送りの可能性

- FRBが9月に利下げを決定する場合、日銀が利上げを行うと、金融政策の方向性の違いが円高圧力となり、市場の混乱を招く恐れがあります。
- 一方、FRBが利下げを見送れば、失望感から市場が不安定化するリスクがあり、金融市場の不確実性を理由に、日銀の利上げはさらに先送りされる可能性があります。

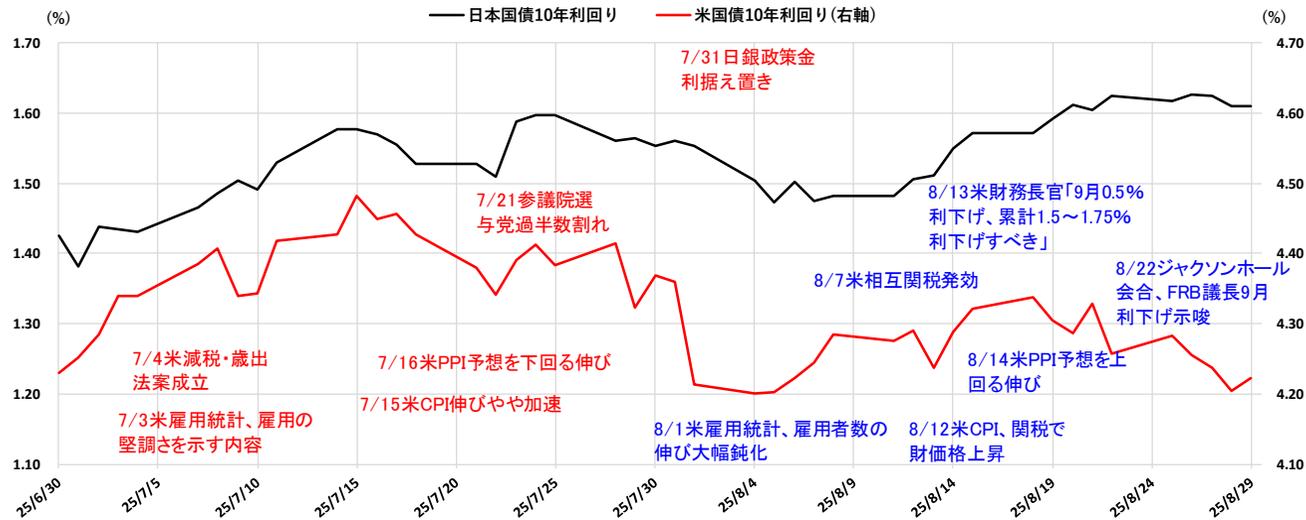
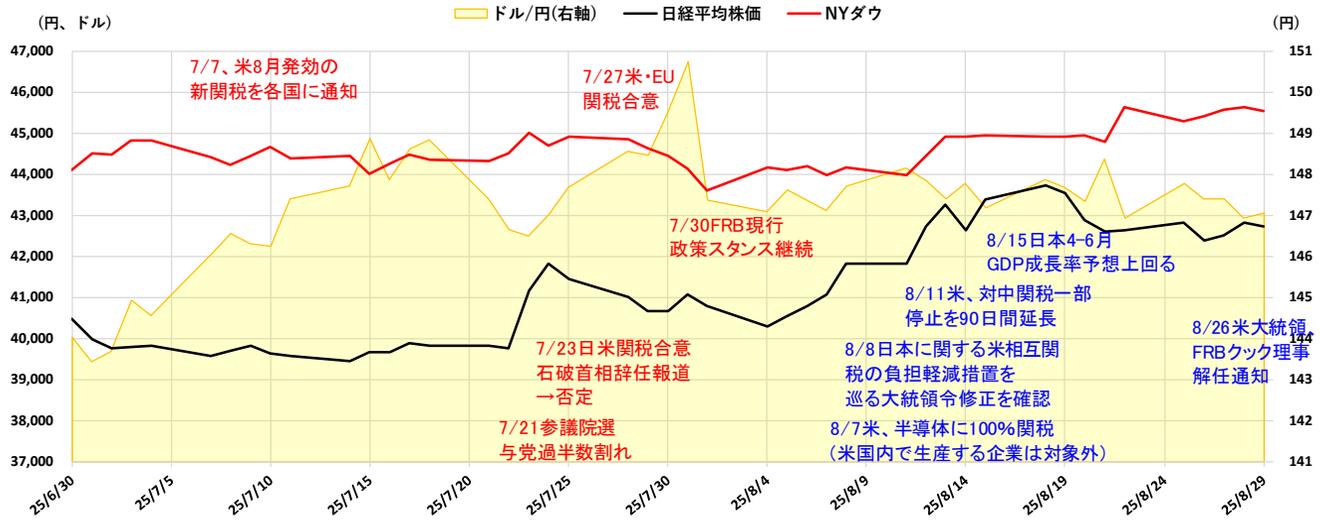
【まとめ】

- FRBの金融政策が雇用の下振れリスクに対応する方向へ変化しつつあることは重要で、景気のソフトランディング期待を支え、市場の安心感につながると考えられます。

主な相場変動要因

主な相場変動要因

(2025/6/30 ~ 2025/8/29)



(出所) LSEGよりワイエムアセットマネジメント作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。